

自然の文化祭「大阪自然史フェスティバル2019」を開催します

～開催当日は、関西文化の日のため入場無料～



大阪市立自然史博物館では、「大阪自然史フェスティバル2019」を、関西文化の日である2019年11月16日（土）、11月17日（日）に開催します。

「大阪自然史フェスティバル」は、100団体以上の自然に関わるサークルや、地域の自然保護団体等が一堂に会して出展する文化祭です。また、自然に関連する博物館や企業も参加し、活動紹介やワークショップ等を通じて、市民のみなさんに大阪周辺の自然の現状や自然に関わる楽しさをお伝えします。

このような趣旨のフェスティバルは、2003年よりほぼ毎年この時期に開催しています。各回の来場者は1万人を超え、多くの方々に「自然の文化祭」として楽しんでいただいております。

■開催概要

1. 名称：「大阪自然史フェスティバル2019」
2. 期間：2019年11月16日（土）、11月17日（日）
3. 会場：大阪市立自然史博物館 本館および博物館玄関前ポーチ、ネイチャーホール（花と緑と自然の情報センター2階）
〒546-0034 大阪市東住吉区长居公園 1-23（長居公園内）
TEL：06-6697-6221 FAX：06-6697-6225
HP：<http://www.mus-nh.city.osaka.jp/>
地下鉄御堂筋線「長居」下車3号出口・東へ800m
JR阪和線「長居」下車東出口・東へ1000m
4. 入場料：無料 ※2019年11月16日（土）・11月17日（日）ともに「関西文化の日」のため、博物館本館入館料も無料となります。
5. 開催時間：9時30分から16時30分（ただし両日とも入館は16時まで）
6. 主催：大阪市立自然史博物館、認定特定非営利活動法人大阪自然史センター、関西自然保護機構

7. 協 賛：カールツァイス株式会社、協栄産業株式会社、株式会社ケンコー・トキナー、株式会社好日山荘、興和光学株式会社、株式会社ニコンイメージングジャパン、株式会社阪神交易、ベルボン株式会社

8. 協 力：一般社団法人 SDGs 市民社会ネットワーク、大阪市立自然史博物館友の会、公益社団法人大阪自然環境保全協会、公益社団法人生態系トラスト協会、谷口高司鳥絵工房、日本野鳥の会大阪支部、根室市観光協会、マンボウなんでも博物館

9. 開催内容

◆ブース展示（両日とも開催）

出展団体による活動紹介や標本などの展示、自然をテーマとした参加体験型の工作・ゲームコーナーなど。生き物をモチーフとした作品の販売ブースもあります。

◆ワークショップ（両日とも開催）

様々な自然観察・自然保護教育プログラムを実施します。受付は当日会場で行います。

◆世界の双眼鏡・望遠鏡の展示・販売（両日とも開催）

ケンコー、コーワ、ツァイス、ニコンなど、各社の双眼鏡・望遠鏡が勢揃いします。

10. 問合せ

◆フェスティバルに関するお問い合わせ

大阪自然史フェスティバル事務局（認定特定非営利活動法人大阪自然史センター内）

TEL：06-6697-6262 FAX：06-6697-6306 MAIL：fes2019@mus-nh.city.osaka.jp

「大阪自然史フェスティバル2019」公式webサイト <http://www.omnh.net/npo/fes/>

◆取材・広報・広報用画像に関するお問い合わせ

大阪市立自然史博物館 総務課 広報担当 大江（おおえ）

〒546-0034 大阪市東住吉区長居公園1-23（長居公園内）

TEL：06-6697-6222 FAX：06-6697-6225 MAIL：a-oe@ocm.osaka

■広報用提供写真

1. 会場内の出展ブースの様子
(ネイチャーホール)



3. 会場内の出展ブースの様子
(玄関ポーチ)



2. 日本野鳥の会大阪支部による
バードウォッチング入門講座



4. 大阪市立自然史博物館友の会による
自然観察体験



イベントなど詳細情報

◆講習会・体験講座

<11月16日(土)>

「叶内拓哉とバードウォッチング」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、長居植物園内でバードウォッチングをします。

日 時：11月16日(土) 10:30～11:30

参加費：無料

定 員：先着50名

講 師：叶内拓哉氏(野鳥写真家)

集合場所：博物館玄関前ポーチ

主 催：興和光学株式会社

「叶内拓哉 野鳥の話 アレコレ」

野鳥写真家の叶内拓哉さんを講師に迎え、野鳥撮影はもちろんのこと、豊富な経験・知識を元にした野鳥に関する話を聞くことができます。

日 時：11月16日(土) 12:30～14:00

参加費：無料

定 員：先着30名

講 師：叶内拓哉氏(野鳥写真家)

集合場所：博物館玄関前ポーチ

主 催：興和光学株式会社

<11月17日(日)>

「はじめての鳥みたい(隊)!(探鳥会)」

長居植物園内でバードウォッチングをします。野鳥を観察することが初めての方、まだまだ経験のない方も大歓迎です。

日 時：11月17日(日) 10:30～12:00、13:30～15:00

参加費：無料(ただし植物園入園料が必要)

定 員：各回先着50名

集合場所：博物館玄関前ポーチ

主 催：日本野鳥の会大阪支部

<11月16日(土)17日(日)>

「谷口高司鳥絵工房『谷口高司のたまご式鳥絵塾』」

野鳥図鑑で有名なイラストレーター、谷口高司氏による楽しい鳥の絵の描き方講習会です。参加者にはオリジナル野鳥缶バッジをプレゼントいたします。

日 時：

<小学6～3年生> メジロ 11月16日(土) 14:30～15:30

<小学6～3年生> エナガ 11月17日(日) 11:00～12:00

<大人～中学生> ヤマガラ 11月17日(日) 13:00～14:00

<大人～中学生> ルリビタキ 11月17日(日) 14:30～15:30

参加費：1000円(画材代)

定 員：各回先着30名

集合場所：博物館玄関前ポーチ

その他：画材の持込不可、写真撮影禁止、保護者の同席不可。小学3年生以上であればどの講座もご受講頂けますが、講座は対象年齢に合わせた内容で実施します。

主 催：谷口高司鳥絵工房

「ビオトープの生きものを探そう」

博物館のバックヤードにあるビオトープで、植物の観察や昆虫などの生きもの探しをしてみましよう。友の会評議員がやさしく案内するので、小さなお子さんから大人まで参加できます。

日 時：11月16日（土）・17日（日） 11：00～12：00、14：00～15：00

参加費：無料

定 員：各回先着30名

集合場所：博物館玄関前ポーチ

主 催：大阪市立自然史博物館友の会

◆講演会・シンポジウム・その他

<11月16日（土）>

講演会「水族館で24時間 目視観察してわかったマンボウの一日の行動」

マンボウは水族館で人気の高い魚です。しかし、マンボウの生態はまだまだ謎だらけ。最近、新しい研究手法を使って、マンボウの生態研究が急速に進められていますが、大海原にいる野生のマンボウの行動を実際に自分の目で見て観察することはとても難しいです・・・しかし、水族館ならそれができます！マンボウ好きの一般の人達も一緒に、マンボウが一日の中でどんな行動をするのか？ マンボウはどうやって寝るのか？を実際に観察してみました。今年の秋ごろ発売予定の著書『マンボウは上を向いてねむるのか』（ポプラ社）の内容も交えてお話したいと思います。この講演を聞いたならば是非、水族館でマンボウを観察してみてください！

日 時：11月16日（土） 11：00～12：00

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

講 師：澤井悦郎 氏（マンボウなんでも博物館）

主 催：マンボウなんでも博物館

「ヤイロチョウの新たな保護課題に関する座談会」

生態系トラスト協会は長年、国や高知県の絶滅危惧種に指定されているヤイロチョウの生息地の森をナショナル・トラスト手法で取得・保護しています。新たな課題として、ヤイロチョウと大規模風力発電計画の関係性を考えていますが、被害予測は未解明な部分が多いです。こうした課題に対応するための意見交流をしませんか。

日 時：11月16日（土） 10：00～11：30

参加費：無料

定 員：30名

集合場所：博物館玄関前ポーチ

その他：参加者全員に、ヤイロチョウ・オリジナル絵はがきを差し上げます。

主 催：公益社団法人生態系トラスト協会

ミニ講演会「大阪の水辺環境のいま」

大阪府内の河川・ため池・湿地などに係る環境保護・環境教育のグループの調査を通じて、大阪の水辺環境の実態を探ります。それらを通じて、大阪の水環境の保護保全の方策を考える場にしていきます。

日 時：11月16日（土） 14：00～16：30

参加費：無料

定 員：30名

講 師：綾史郎氏（大阪工業大学名誉教授）ほか

集合場所：博物館玄関前ポーチ

主 催：公益社団法人大阪自然環境保全協会

講演会「鳥たちの過去・現在・未来」

鳥の分布や生態はどんどん変わっていきます。過去の大阪平野にはどんな鳥がいたのでしょうか。逆にこれから100年後どうなるのでしょうか。鳥の歴史を通じて、私たちが残したい自然とはなにかを考えます。

日 時：11月16日（土） 14：00～16：00

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

講 師：上田恵介氏（公益財団法人日本野鳥の会会長）

主 催：日本野鳥の会大阪支部

<11月17日（日）>

シンポジウム「大阪湾の自然創生をめざして 今なにができるか～夢洲の可能性をさぐる～」

大都市の海辺の自然は、今どのような現状にあるのでしょうか。様々な分野の専門家に集まって頂き、SDGsの視点も含め、意見交流をします。皆さんと一緒に、「大阪湾の自然の未来」について考えてみませんか。

日 時：11月17日（日） 10：00～12：30

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

パネラー：夏原由博氏（名古屋大学・大阪自然環境保全協会会長）、傘木宏夫氏（NPO 地域づくり工房・環境アセスメント学会）、新田英理子氏（SDGs 市民社会ネットワーク）ほか

主 催：公益社団法人大阪自然環境保全協会、一般社団法人SDGs 市民社会ネットワーク

講演会「コケの世界へようこそ」

みなさんはどれくらいコケのことを知っているでしょうか？生き物に興味がある人の中でコケを見たことない人はいないと思いますが、少し踏み込んだ話になるとよく知らない人がほとんどだと思います。コケの魅力、楽しみ方、自然界における役割から最近のコケブームについてまで、コケとの付き合い方についてお話しします。講演を聞いて、コケの世界に一步踏み出してみましよう。

日 時：11月17日（日） 13：30～15：30

会 場：自然史博物館 講堂

参加費：無料

講 師：藤井久子氏（日本蘚苔類学会会員、コケ図鑑著者）

主 催：関西自然保護機構

サイエンスカフェ「法律から考える生き物いっぱいの都市公園」

大阪市の緑化百年宣言によって自然豊かな市民の憩いの場所になった大阪城公園。ビジネス開発で悲惨な状況になっている現状とそれを止める方法等、サイエンスカフェの場で弁護士と一緒に考えてみませんか？

日 時：11月17日（日） 14：00～16：00

参加費：無料

定 員：30名

講 師：井上 陽氏（弁護士）

集合場所：博物館玄関前ポーチ

主 催：公益社団法人大阪自然環境保全協会